GS1 Japan

The Global Language of Business

食品軽包装メーカーのみなさま

バーコードのソースマーキング

が求められています！

バーコードのソースマーキングとは？

商品が製造、出荷される段階で、メーカーや発売元が商品にバーコードを表示することです。

どんな業務で使えるの？

様々な業務で活用できます！

- 発注
- 入出荷検品
- 棚卸／仕分け作業
- POSレジでの読取

なぜ商品にバーコードが必要なの？

- 商品にバーコードがついていると、さまざまな場面で業務改善、効率化が図れます。
- 卸売業や小売業等からもソースマーキングを求める声が高まっています。

メーカーのメリットは？

- 繁忙期にも正確でスピーディな出荷検品！
- 大変な棚卸作業も効率的に！
- 在庫管理の精度UP！
- 出荷先ごとのラベル付け替えが不要に！

バーコードを「ピッ！」するだけで

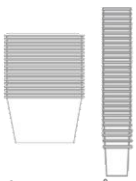
実物を見ながら
正確・迅速に発注

誰でも簡単に
正確な検品、棚卸

自動読取・仕分け
省人化！

どんな商品にバーコードが必要？

下記のような、食品軽包装業界で扱われる全ての商品（別注品含む）に必要です！


トレー、コップ

レジ袋

袋（ポリ袋、防曇袋）

青果用ネット、キャップ

飲食関連品

粘着テープ

段ボール

のし紙

包装紙

ラップ、フィルム

シール・ラベル

木毛

パッキン

衛生用品

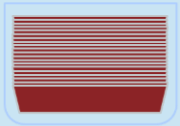
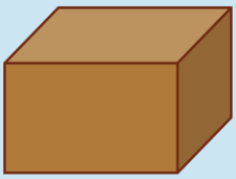
ユニフォーム

販促用品

厨房用品

外箱と内箱（袋）、どちらにバーコードをつけるの？

企業（メーカー、卸、ユーザー）間で取引きされる商品単位すべてに表示します。

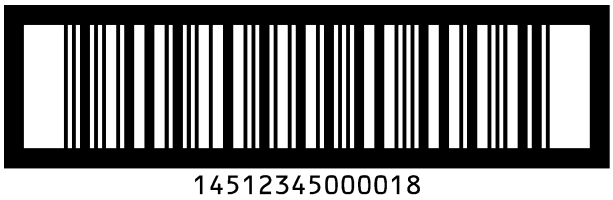
使用単位	最小取引単位	メーカー・卸間主要取引単位
		
トレー1枚	袋単位（トレー50枚入り）	ケース単位（50枚入り袋×10）
バーコード表示 不要 (POSレジを通る場合は必要)	バーコード表示 必要	バーコード表示 必要

どんな種類のバーコードを表示すればいいの？

商品単位（商品の荷姿）によって、表示するバーコードが異なります。

袋単位、小箱、中箱単位には
JANシンボル

ケース単位(メーカー・卸間主要取引単位)には
ITFシンボル



ソースマーキングをする際はガイドを参考に！

食品軽包装業界
バーコード（JANシンボル・ITFシンボル）
ソースマーキングガイド

食品軽包装のバーコードソースマーキングについてのガイドを作成しています。初めて対応する方はもちろん、すでにソースマーキングを行っている方も、正しいバーコード表示のチェックにご一読ください。
https://www.gs1jp.org/standard/industry/food-package

【お問い合わせ先】

協同組合ハウネット
03-3836-5231
www.hownet.or.jp

GS1 Japan
ソリューション第1部グロサリー業界グループ
aidc@gs1jp.org